

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel 0776-82-1141 Fax 0776-82-2261

【斉藤新緑事務所】〒913-0046 福井県坂井市三国町北本町2-1-20 京福三国ビル2F

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

ほっせらいん



人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

VOL.64



「地方主権が1丁目1番地」をスローガンに終わらせるな！

原口総務相へ（全国議長会・地方自治委員会、正副委員長）

雄気堂々

城山三郎に、「雄気堂々」という小説があります。

「日本資本主義の父」といわれる渋沢栄一（1840～1931）、株式会社の理念を日本に普及させ、自ら、第一国立銀行、王子製紙、日本郵船といった、生涯500以上もの企業の設立に尽力した日本屈指の経済人。

その波乱万丈の生涯とその時代（幕末～明治）を描いたもので、痛快でテンポも良く大変面白い小説です。

血洗島（現在の埼玉県）の一農夫（栄一）が、幕末の志士として幕府転覆のために拳兵を思い立ち（断念）、幕府の追ってから逃れて命からがら一橋家に雇われることになりました。

慶喜の知遇を得て、フランスに留学、その間に、大政奉還、明治維新となり、帰国すると大隈重信に説得されて、今度は政府で仕事を始めることになりました。

倒幕側から幕府側へ、そして今度はまた倒幕側（明治政府）

というのでは、あまりに節操がなく、第一何をしてもよいのやらわからないと拒む栄一に、大隈は、「誰もわからない。みんな勉強しながら日本を作っていく、八百万の神の柱として働いて欲しい」といわれ、大蔵省租税正に就任します。

しかし、何もかも新しくはじめなければならぬ新政府は、国づくりの熱っぽい雰囲気にあふれていたものの、同時に矛盾も多く、大久保利通との衝突もあって辞職を決心します。

しかし、井上馨に、「きみの大不平にも一理はあると思つが、しかし、それは、きみが日本のことを他人視したから起ったことだ。もし、この日本を自分の国と思えば、不平をいつても居られまい。どうしたって、ふみとどまると、少しでもよくしようと努力する気になるのではないか。いつまでもとはいわぬ。もう少し辛抱して残ってはくれんか」と説得され、翻意します。

だった井上馨とともに、官界を去ることになります。

「互いに足らぬところを補い合つてこそ、八百万の神々の集いの意味もあるのだが、神々は互いに罵り合い、ついには殺し合いになった。政治の世界は、空しく、悲惨である。」

栄一は、民業に生きることの意味をあらためて感じ、民業の世界にこそ、八百万の神々の集いを実現しなければならぬと思った。

8月30日実施の総選挙において、日本に「平成維新」ともいふべき政権交代が起き、民主党政権が誕生した。どん詰まりの閉塞状況を突破してくれんことを期待したいが……。

昨年秋の読書週間に、お勧めの一冊として政権交代にちなんで書いたものだが、新政権も、リーダーの、政治とカネの問題から、経済・財政、外交・防衛、2010年度予算編成とマニフェスト（政権公約）破綻、見えない意思決定プロセス、スローガンと現実性など危うい。

赤組・白組ではなく、次の選挙でもなく、厳しい時代、しっかりと日本の国家の運営をしてほしいと願う。

「ねじれ現象」ということについて

政権交代前は、衆議院は自民党が多数で、参議院は野党が多数で、衆議院と参議院のねじれ現象などといわれました。しかし、もともと参議院は何のためにあるのかといえば、6年間解散もなく、衆議院と違う角度からの議論や結論を出すためにあるものであって、「良識の府」と呼ばれてきました。参議院の政党化が進んで、衆議院と同じ政党でしぼりをかけ、衆議院と同じ結論を出すカーボンコピーであることの方が、その存在を危うくしているという過言ではありません。

国の政権が交代したら、今度は「国と地方のねじれ」などといわれるようになります。



総務省渡辺副大臣、小川政務官に要望

国が民主党政権で、地方の首長や議会は自民党が多数ということになるわけですが、これも、国の政治機関と地方の政治機関は、別機関なのですから、政権が自民党から民主党に変わっただけで、国対地方という構図に変わりません。

タテマエ上も、国の政府と地方府(自治体)とは、上下主従の関係ではなく、対等協力の関係であり、地方議会は、地方の首長に対しての議会ということからです。

地方は、国の議院内閣制(議院から首相を選ぶ)でなく、二元代表制(首長と議会が直接選挙で選ばれる)なので、首長に対して与党も野党もありません。

しかし、地方議会では、党派の名前を中央の政党名をそのまま使っているケースも多く、議員の所属政党と国会における

政権交代と地方議会



全国議長会

与党、野党をそのまま地方にも延長して、中央の下部組織という感覚を持った人が多いのも事実です。

本来、地方議会は政党政治ではないので、私は、中央政府と地方府という位置づけを明確に意識すべきだと思います。地方に対する中央政府の政策については、支持政党に拘泥せず、地方議会としては是非々々で望むべきだと思います。

中央集権と陳情

「政権交代して大変でしょう」とよくいわれま



前原大臣に新幹線未着工区間への要望

民主党に交代したことで、地方議会とは直接は関係がありません。ただ、問題は、従来やってきた、地方から国に対しての予算獲得を含めた要請、陳情について、中央がどのように対応するのかということでした。

新政権発足当時は、従来型の陳情政治はやらないというスタンスでしたから、どうして良いのか地方にとっては、対応に苦

慮しました。

政府内でも総務省などは全国議長会などの陳情や要請を積極的に受け入れましたが国土交通省あたりは、なかなか対応しないようなことがあったりしますが、その後、新幹線陳情などは、知事と議長という立場で前原大臣に直接要請することなど、対応可能となりました。

民主党は、現在地方戦略局を通して、地方の要望を吸い上げ、民主党から政府へその声を要望するというスタイルにしています。

しかし、民主党としての対応はともかく、政府がそれでは、かつてのソ連共産党「みたいではないか」ということで、全国からは、政府は幅広く要望窓口を持つよう要請の声が上がっています。

地方府の代表は、行政の長である首長であり、議会の長である議長であるわけですから、そうした声を政府は直接聞くべきです。福井県議会においても、下のようにより、意見書を採択しました。

もちろん、何よりも、民主党政権が掲げる「地方主権」を実行に移して、一刻も早く地方が高い交通費や宿泊費を払って、陳情に上京しなくても、地方の判断でも実行できるように、地方分権改革を早めるべきです。

国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書案)

地方の声を国政に伝える上で、主権者の代表たる地方自治体の首長が、中央政府に対し陳情することは極めて重要な手段である。

政府・与党では窓口を民主党本部幹事長室に一元化した形式でのシステムづくりが進められている。これに対しては、地方自治体から、国に地方の声が届くのかと不安や危惧の声が多くあがっている。原口正博総務大臣も記者会見で、地方自治体の長は選挙で選ばれた地域住民の代表であり、中央政府とアクセスするのに何か制限があることはあってはならないとの趣旨の発言をしている。

本来、政治と行政の役割は切り離して考えるべきであり、特に多様化、専門化している行政への要望等を、立法府を構成する政党が一元化して受けることで、事実上、行政への窓口を閉ざすことは、憲法で保障する国民の請願権を侵害することにもつながりかねない。

よって、国においては、行政府として直接地方の声を耳を傾け、しっかりと受け止める適切な仕組みを保障するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月18日 福井県議会

2010年度政府予算の記録

一般会計 92.3兆円・・・過去最大
 税外収入 10.6兆円・・・過去最大
 国債発行額 44.3兆円・・・過去最大
 税込 37.4兆円・・・1984年度以来の低さ
 国債発行額を税収が下回る・・・戦後初
 国債依存度 48.0%・・・過去最大
 公共事業関係費 18.3%減・・・過去最大
 地方交付税等 17.4兆円・・・過去最大

(当初予算段階、伸び率は前年度当初比)



新緑の眼

投票しただけかも知れず、マニフェストを支持したとはいえないのではなかろうか。その間(4年間の短期)という

〈参考〉現在の検討状況 将来ビジョン検討会議の開催

| 時期 | テーマ | 内容 |
|--------|-------------------|---|
| 11月(済) | 東アジアの成長と福井県の社会、産業 | 東アジア諸国と日本や福井県との社会面、産業面での関係変化と、本県の社会や産業に及ぼす影響、課題等を検討 |
| 12月(済) | 都市と地方の連携 | 地方の政治・行政の変化を踏まえて、都市と地方の望ましい姿とそれを支える仕組みを検討 |
| 1月 | 人口構造の変化と日本、福井県の課題 | 人口構造の変化(人口減少、少子高齢化)と、日本や福井県の社会に及ぼす影響と問題点などを検討 |
| 1月 | 環境と共生する社会に向けての課題 | 地球温暖化への対応をはじめ環境と共生する社会がこれまで以上に必要となる中で、人々の生活や産業と環境を共に向上させるための課題や問題点などを検討 |
| 2月 | 新しい人間像 | 個人の価値観の変化や人と人とのつながりの変化を踏まえて、今後のコミュニティを支える人間像について検討 |

マニフェストと将来ビジョン

西川知事が、ようやく将来ビジョンを作成することに踏み切り、動き始めました。

知事は、マニフェストで選挙を行い、当選したのだから、それを4年間のうちに県民との約束事として、実行するという姿勢で、議会との関係では個別に予算が計上されたときに、妥当かどうかを判断してほしいというつもりでした。

「しかし、私たちは、「そのマニフェストを何人が最初から最後まで納得して投票したのか、立候補の相手との比較で投票しただけかも知れず、マニフェストを支持したとはいえないのではなかろうか。その間(4年間の短期)という」

などがあって、短期実行計画としてのマニフェストが位置づけられるべきだ。」と主張してきました。

知事は「将来見通しが難しく従来のように長期計画を作ることが目的化してしまっただけで、意味がない」と繰り返してききましたが、議会は「従来型の中長期計画作成という概念を捨て、どのような福井県をめざすのか、その方向性を含め、研修・調査・研究・議論し合う事が重要である」と指摘し、このたび、福井県の将来ビジョン作成が動き出しました。

選挙に選挙で当選したから必ずやると約束するものです。

総選挙時は、事業仕分けで無駄を省いて財源を確保して、マニフェストを実行するはずでしたが、来年度予算編成では、財源不足でマニフェストそれ自体を見直さなければならなくなりました。「約束違反」「ウソつき」といわれても仕方ないことです。



政治家は次の時代を考え、政治屋は次の選挙を考える

本格的な政権交代がなつたあとだから、仕方がないのかもしれませんが、総選挙がすんだら、すぐに参議院選挙。選挙に勝つための予算なのか、国民国家のための政策なのか、突然、鶴の一声で物事が決定されることなど、かつてのこの国の「一党独裁」とか独裁者を思うような場面もあります。

マニフェストを仕分けすべき

今回の予算編成でマニフェスト遂行が財政的に持続不可能ということが明らかとなった以上、いさぎよく、今度は公約を取捨選択しマニフェストの「事業仕分け」を実施していくべきだと思います。

失敗はあっても、反省すべき点は反省し、説明責任を果たしていくことが、政治の質を向上させていくことだと思います。政権政党責任ある政府として、政党のためでなく国民のためにわかりやすく現実対応をしっかりとしてもらいたいと思います。

赤組だから、白組だからという何の理屈もないような政治は、政治のレベルをどんどん押し下げていきます。どんな国をめざすのかマニフェストはあっても、ビジョンがない国は、まさに選挙があっても政治がない国といわざるをえません。

赤組だから、白組だからという何の理屈もないような政治は、政治のレベルをどんどん押し下げていきます。どんな国をめざすのかマニフェストはあっても、ビジョンがない国は、まさに選挙があっても政治がない国といわざるをえません。

福井県の当面する課題

高速交通体系の整備

県内の高規格幹線道路

高規格幹線道路って何？

自動車が高速で走れる構造の自動車専用の道路のことです。県内では既に北陸自動車道が全線開通していますが、このほか現在、舞鶴若狭自動車道と中部縦貫自動車道の整備が進められています。

舞鶴若狭自動車道とは？



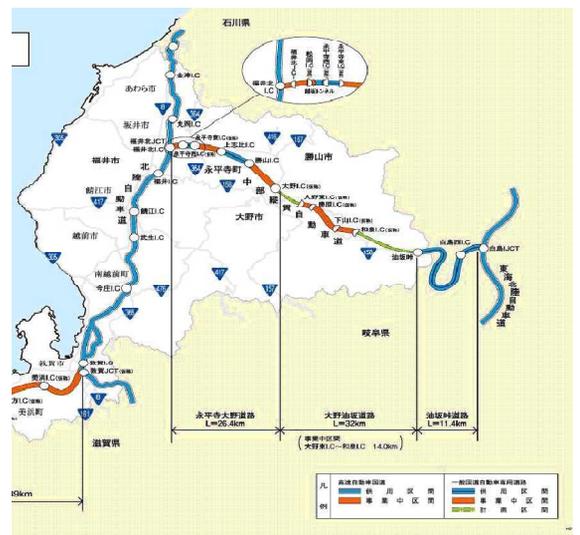
中国自動車道の吉川ジャンクション(兵庫県三木市)から敦賀市の北陸自動車道路に至る延長約162km(このうち県内延長は約70km)の高規格幹線道路です。

いつ頃開通するの？

現在、吉川から小浜西インターまでの約112kmが開通しています。残り約50kmのうち、小浜西・小浜間(約11km)の開通は平成23年度、敦賀までの全線開通は平成26年度の予定です。

完成するとどうなるの？

福井と小浜間は現在より約30分短縮され、約1時間で行けるようになります。中国自動車道、名神高速道路、北陸自動車道とつながり、関西、中京、北陸の広域のネットワークができて



す。

中部縦貫自動車道とは

長野県松本市を起点に福井市に至る延長約160km(このうち県内延長は約60km)の高規格幹線道路です。

いつ頃開通するの？

平成21年3月には上志比・勝山間(約8km)が開通し、現在、約43km(県内約12km)が開通しています。残り区間のうち勝山・大野間については平成24年度に開通する予定となっています。また、福井・大野間全線が平成28年度までに完成するよう強く働きかけています。

完成するとどうなるの？

福井と松本間は現在より2時間10分短縮され、2時間50分で行けるようになります。本県と関東圏を最短距離で結び北陸、中京、関東の広域のネットワークができます。

北陸新幹線

北陸新幹線の福井延伸については、前政権では、昨年までのみで、認可着工と認可着工というところでしたが、新政権では、未着工の区間については、白紙という方針が出されました。

しかしながら、県議会としても、国に対して、県内早期着工に関する意見書を提出するなど、知事と一体となって粘り強い要請活動に取り組んできました。その結果、来年度政府予算案

に、整備新幹線の予算内に新規着工に充てることのできる費用が計上されることになりました。(90億円)

今後、国土交通省の整備新幹線問題検討会議(大臣、副大臣)において、費用対効果、沿線自治体の取組等を検証して、着工の優先順位を付け、本年夏までに新規着工の判断をまとめる予定となっています。

北陸新幹線は他の未着工区間と比べ、採算性が高く、整備方式が唯一フル規格である点など、十分優位性があり、しっかりと要請し、一日も早い認可・着工をめざします。

○関西と北陸に大きなメリット

- ・関西圏と北陸の流動(650万人)がさらに拡大
- ・敦賀開業で大きな時間短縮効果(大阪との所要時間)

| 金沢 | 富山 | 上越 |
|--------------------|--------------------|---------------------|
| 2:40→2:00 40分短縮 | 3:15→2:15 1時間短縮 | 4:35→2:40 約2時間短縮 |

(参考 全線開業時の大阪との所要時間)

| 福井 | 金沢 | 富山 | 上越 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1:55→0:50 1時間5分短縮 | 2:40→1:10 1時間30分短縮 | 3:15→1:25 1時間50分短縮 | 4:35→1:50 2時間45分短縮 |

※大阪までは整備計画トのルートによる所要時間

○近畿知事会で関西全体に必要なインフラとして位置づけ

- ・「広域インフラランドデザイン」に重要な柱として明記(21.6)
- ・北陸新幹線の早期建設を求める緊急決議(21.11)
「敦賀までの早期着工と一日も早い大阪までの整備」



足羽川ダム

足羽川ダム建設事業は、国、県、町がその必要性を認め、平成18年10月に基本協定を締結して事業を推進してきました。

しかしながら、昨年末に、国交省は、足羽川ダムを含む89のダム事業を凍結して必要性を検証するようになったため、当面、新たな段階である用地買収には入られない状況となっています。

今後、国交省内に設ける有識者会議で建設計画や必要性を検証し、今年夏までに方向性をまとめるという事です。

が、福井豪雨により甚大な被害を受けた地域でもあり、地域の安全を確保するため早急に結論を出すよう国に求めています。

国庫補助ダム

国が直接事業を執行している足羽川ダムのほかに、福井県が国の補助を受けて実施しているダム事業が、吉野瀬川ダム(越前市)、河内川ダム(若狭町)、大津呂ダム(おおい町)の3つあります。

大津呂ダムはダム本体工事に着手しているため、国交省は事業

業継続と判断しましたが、残りの吉野瀬川ダム、河内川ダムは、凍結し検証する対象となりました。

これらについても、早急に結論を出すよう国に求めています。

「もんじゅ」の運転再開

日本原子力発電機構は、「もんじゅ」のナトリウム漏洩事故以来14年間にわたる設備や体制の改善結果を総括した安全性総点検報告書を、昨年11月に国に提出するとともに、県敦賀市に報告しました。



また、運転開始前の国の検査が終了し、機構が12月下旬から起動前点検を実施しています。今後、国が立ち入り検査等の結果を踏まえ運転再開の妥当性を総合評価するとともに、県も独自に、プラント全体の安全性についてハード・ソフト両面において厳正に確認します。

関西電力高浜発電所のプルサーマル計画

高浜発電所3・4号機について、MOX12体の製造が完了し、関西電力は10月に国に検査を申請しました。

国の審査結果を含め、県としても現地調査を行うなど妥当性を厳正に確認します。

運転開始後40年となる原子力発電所の運転継続

日本原電敦賀発電所1号機が、本年3月に運転開始40年となるが、昨年9月に長期保守管理指針について国の認可が下されました。

今後、運転を継続し運転停止時期を平成28年とする日本原電の方針を了承するかは、厳正に判断します。

また、関西電力美浜1号機は本年11月に運転開始40年となる。高経年化技術評価、長期保守管理方針について国に提出されましたが、広く県民の理解を得ることが不可欠であり、厳正に確認し対応します。

原子力発電

子育て支援

本県は、全国で唯一、平成17年から4年連続で出生率が上昇。

こうした特長をさらに伸ばしていくために、一時保育、保育所・幼稚園等への送迎、家事の世話等を支援するすみずみ子育てサポート事業や子育てマイスター制度など、福井県オリジナルの施策を実施し、子育て支援のトップランナーとして全国から注目されています。

平成20年も合計特殊出生率が1.54で全国6位と、引き続き全国上位にあり、こうした施策の効果が現れているものと思えます。

また、今年度から、「福井県安心こども基金」(総額11億円)を創設。これを活用し、妊婦健診への助成や保育所の耐震化・増改築などを行っています。

妊婦健診については、これまで第1子と第2子は5回目までが無料、第3子以降については、3人っ子心

援プロジェクト」により、14回すべての健診を無料としていました。

今年度からは、市町と連携して、全ての妊婦について14回分の検診費用を無料化した。「日本一の子育て応援システム」をさらに充実させていきます。



子ども手当と高校無償化

新政権は、平成22年度政府予算案に、マニフェストに掲げた子ども手当の支給を盛り込みました。

月1万3千円を所得制限設けずに、一律支給する。(貯蓄にまわってしまったり、他の用途に使われてしまったり、制度を設けた趣旨が活かされないおそれがある。)

また、財源面で見ると、平成22年度限りの暫定措置として、子ども手当と児童手当とを併給する方式とすることであり、児童手当の地方負担が継続して求められることとなりました。

子ども手当の財源として、国がすべて面倒をみるのかと思っていたが、一部、地方負担が押し付けられた。国と地方の役割分担の考え方がまだ十分に整理されていないと言わざるをえません。

子ども手当関係総額

2兆2554億円

国の負担

1兆7465億円

おおまかにいうと、残りの約5000億円を地方、企業が負担することになります。

また、高校授業料の無償化

も平成22年度政府予算案に盛り込まれました。

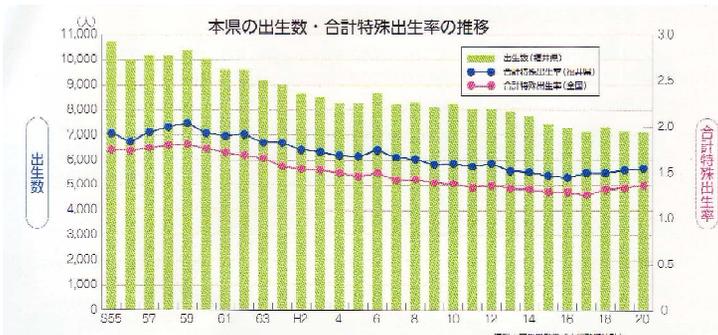
公立高校生は授業料が不要になり、私立高校生には世帯所得に応じて年12〜24万円を間接的に助成する。(直接本人に現金が渡るわけではなく、私立学校に配分することにより間接的に助成する。)

教育・文化

文部科学省が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」において、本県の児童・生徒の総合成績は、中学生が全国第1位、小学生も第2位と3年連続で全国最上位の成績を収めました。

さらに、「全国体力、運動能力等調査」では、本県の児童・生徒の成績は、小学生が男女とも全国第1位、中学生女子が第1位、中学生男子が第3位と、2年連続で全国最上位の成績を収めました。

特に、A・Dまでの5段階区分で評価すると、福井県の小学生のA評価者は男子で25%、女子で27%と全体の4分の1以上の児童が該当。全国平均が12%前後であることから、(走・跳・投など)体力、運動能力面に於ける総合的な能力に優れ



| 年次 | 出生数(千人) | 合計特殊出生率(%) |
|-------|-----------|------------|
| 平成12年 | 1.60(8万) | 1.36 |
| 平成13年 | 1.52(9万) | 1.33 |
| 平成14年 | 1.51(9万) | 1.32 |
| 平成15年 | 1.47(10万) | 1.29 |
| 平成16年 | 1.45(11万) | 1.29 |
| 平成17年 | 1.50(9万) | 1.26 |
| 平成18年 | 1.50(7万) | 1.32 |
| 平成19年 | 1.52(6万) | 1.34 |
| 平成20年 | 1.54(6万) | 1.37 |



た子どもたちが多いことが分かる。なお、新政権下で編成された平成22年度政府予算案では、「全国学力・学習状況調査」と「全国体力・運動能力等調査」は全員参加方式をやめ、それぞれ約30%、約20%を抽出して実施することとなった。

(本県ではどのような対応をするかは、今後、小中学校の設置者である市町教育委員会と相談して決めていくことになる。)

農業

戸別所得補償制度の導入

新政権は、「戸別所得補償制度」の導入を施策の中心としており、本年においてモデル事業が実施されます。

この制度は、生産目標数量に従う農家を対象に、全国一律単



価で直接補填するものであるが、具体的な制度設計にあたっては、特産品の産地づくりなどの地域の創意ある取り組み、集落営農など集落ぐるみでの取組みが後退したり、生産条件が異なる地域での不平等が生じ農家の生産意欲が低下したりすることなどがないように、地域の実情を十分に勘案する必要があります。

観光

農業を活性化します。

土地改良、農道、農業用水など農業土木事業の大幅削減(農業農村整備事業費は前年度比63%減、農林水産省所管公共事業全体では前年度比34%減)により、農業の体質強化につながる生産基盤の整備や老朽化した水利施設の補修・更新が遅れることが危惧されます。

土地改良事業など農業土木事業の大幅抑制

土地改良、農道、農業用水など農業土木事業の大幅削減(農業農村整備事業費は前年度比63%減、農林水産省所管公共事業全体では前年度比34%減)により、農業の体質強化につながる生産基盤の整備や老朽化した水利施設の補修・更新が遅れることが危惧されます。

地産地消の推進

全国に先駆け議員提案で成立した福井県地産地消の推進に関する条例に

基づき策定された「ふくい県の食育地産地消計画」により、地場産学校給食の拡大や農産物直売所の展開など各種施策を展開し、地域

本県への観光客入込数観光消費額は、平成20年で1026万人(前年993万人)、840億円(前年809億円)と前年に比べやや増加しました。

しかし、石川県(1947万人)、富山県(1692万人)との間には大きな差が開いています。特に本県への宿泊者数は石川県の4割、外国人観光客数は石川県の6分の1にすぎず、滞在型旅行の推進と受入態勢整備、誘客エリアの拡大、外国人観光客の誘致強化、交通アクセスの整備、広域的な地域間連携が必要となつていきます。

このため、本県では、平成21年2月に、5か年の観光の推進計画をまとめた「新ビジットふくい推進計画」を策

定しました。平成25年に1100万人の観光誘客を目指し、「目玉となる観光地づくり」、「広域観光ルートの開発」などを進めています。

「目玉となる観光地づくり」については、地域の目玉となる観光施設のハード整備等を支援するものであり、東尋坊における商店街通りの石畳舗装や空き店舗を活用した観光センターの整備、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅前でのオープンカフェ等を備えた広場の整備が計画されています。

また、「広域観光ルートの開発」については、観光客の宿泊日数や滞在時間の拡大を目指し、市町間で連携した広域観光圏の形成を図るもので、本年度は、福井市、坂井市、あわら市、永平寺町の4市町が連携した「福井坂井広域観光圏」が周遊パスの試験運行などを実施しています。



今後成長が速く東アジアからの誘客を推進するとともに、隣県を含めた地域間の連携や農業・環境・教育など他分野との連携の強化

が課題です。本年6月に「APECエネルギー大臣会合」が本県で開催されるほか、恐竜博物館が本年開館10周年を迎えるため、これを契機に国内外に本県の魅力アピールしていくことが必要です。

環境問題

環境基本計画に基づく事業の展開

県では、平成20年に新たな「環境基本計画」を策定。これに基づき、昨年6月に設立した「環境ふくい県民会議」を活動の推進母体として、本県独自の環境施策を本格的に進めている。

住宅用の太陽光発電を推進するとともに、住宅の窓の二重サッシ化、LED照明器具の取替え等のリフォームを支援する制度を設けた。

また、企業などでは、自らが排出するCO2の量に応じて算出した資金を、県内で行う植林などの環境貢献



前回のAPECエネルギー大臣会合 / 2007年 ダーウィン(オーストラリア)

活動につなげる福井型カーボンオフセットシステムをスタート。

さらに、国のモデル事業の採択を受け、電気自動車等の次世代の省エネ自動車の普及に向けた県内での実証実験や、マスタープランの策定等を行いま

APEC

エネルギー大臣会合

本年6月19、20日、福井県でAPECエネルギー大臣会合が開かれます。本格的な国際会議を本県で行うのは初めてのこと。各国から数百人が参加して地球温暖化や省エネルギー対策が話し合われ、その結果が世界から注目される会議です。

APECは何?

APEC(アジア太平洋経済

協力)は、アジア、北米、中南米、オセアニアなどアジア太平洋地域の21の国と地域が参加し、各国の首脳が貿易や経済の今後の方向性などについて話し合う世界最大の経済協力の組織です。

来年は日本でAPEC会合が開かれます。11月に横浜で開催される首脳会議の前に、本県のエネルギー大臣会合をはじめ、貿易、財務、観光などの大臣会合が日本各地で開催されます。

エネルギー大臣会合って何をするの?

エネルギー大臣会合は世界のエネルギー政策や地球温暖化対策について各国を代表する大臣が協議する重要な会議です。

これまでエネルギー大臣会合は世界各都市で8回開かれ、日本での開催は1998年の沖縄県以来2回目になります。前回の会合では、省エネルギーやクリーンエネルギーの利用などについて議論されました。

大臣会合の様子は全世界に配信され、本県をアピールする絶好の機会となります。また、様々な国・地域の方が福井を訪れ、子どもたちが世界の政治・経済や文化を肌で感じる良い機会にもなります。

第91代議長に就任して

待っている議会から提案する議会へ



昨年、9月定例会において、第91代福井県議会議長に選出されました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心から厚くお礼申し上げます。予期せぬことで私自身も正直、戸惑いもありましたが、しっかりと頑張っていきたいと思えます。

地方議会がどう対応するか「など、質問そのものに疑問があるようなものにも議長としてのコメント力が求められました。議会内にも、政権交代で、はしゃぐ人もいれば、それをたしなめる人もいて、それが加熱すると、場外乱闘となつて、肝心な中央対地方、首長対議員という、根本視点を失う危険性があります。

しかし、努力を怠れば、元の木阿弥。滅びに至る道は広いです。ローマは一日にしてならず。監視能力、提案能力を身につけるため、議会人として常に研鑽していく必要があります。

私たち福井県議会は、ここ数年、地産地消推進条例など政策条例を提案したり、自らの襟を正す為の政治倫理条例や政務調査費の条件見直し、一円以上のすべての領収書公開に踏み切る条例を制定したりするなど、活発な活動を展開してきました。

従来の、知事からの提案を受けるために議会召集を待っている議会から、自らが発する積極果敢な議会へとさらに進化を続けられる議会づくりをめざしていきたいと思えます。

議長室

0776-20-0600

県庁や福井市内などお出の際には、ぜひお気軽に県議会議長室にもお立ち寄りいただき、いろんなお話をお聞かせください。皆様のご来室をお待ちしております。

お気軽にお立ち寄り下さい



さいとうさんへ
お元気ですか。
私は元気です。
先日、テレビのニュースに、さいとうしんりょくさんが出てたので私はびっくりしました。しんぶんにも、さいとうしんりょくさんがのっていました。
これからも、お年よりの人やしょうがいのある人やさしい福井県にしてください。お願いします。
これからも、もっとよい福井県になることをねがっています。

(女房が病院勤務だった頃に担当した女の子からのお手紙)
「やさしい福井県になるよう『さいとうしんりょく』は、がんばります。」



ご意見、ご質問、メッセージ
お待ちしております。



新年の食卓

石垣 りん

元旦に
家族そろって顔を合わせ
おめでとつ、と挨拶したら。

そこであなただ
どこからおいでになりましたか、と
尋ねあうのも良いことです。

ほんとうのことはだれも知らない
不思議なえにし
たとえ親と子の間柄でも
いのちの来歴は語りきれない。

そして取り囲む新年の食卓
これは島
手にした二本の箸の幅ほどに
暮しの道はのびるだろう
きょうから明日へと細く続くだろう。

このちいさな島に鉄道はない
飛行機も飛ばない
人間が「食べる」という歩調は
昔から変わらない

わずかに平らなテーブルの上に
ことしの花を咲かせるために
喜びの羽音を聞くために
杯を上げよう。

二〇一〇年(平成22年)の新春をお健やかにお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、政権交代するなど激動の年でありましたが、私にとつても、県議会議長就任、母の急逝など、予期せぬ一大事が一度にやってきて、大変な年となりました。

この間、多くの皆様に大変お世話になりましたこと厚くお礼申し上げます。

年当初、公式行事以外は年賀のご挨拶を手控えさせていただきました。ご理解の程、お願い申し上げます。

さて、今年はどうな年か、円高、デフレ、景気の二番底懸念、雇用不安、参議院選挙、などという口を口にして、何だか自分をつまらなくしてしまつた。

新しい年の初めに詠む俳句を新春詠といい、それは、年頭に当たつて新しい年がよい年であるように、人々が幸せに暮らせるように、ことば(言葉で祝つ)役目があるといひます。

世の中はめでたいことばかりではなく、むしろ喜びより苦しみの方が多いいのが人生かもしれませんが、新春詠はこうした苦しみ多い人の世を十分わかつた



新緑の気ままにトク

上で、それでもめでたく詠むものだといひます。

俳句の季語には、春夏秋冬のほかに新年といひがあります。新年といひ季語は、明治になつて旧暦太陽暦から新暦(太陽暦)に切り替わつてからできたもので、旧暦の正月は立春(現在の二月四日)前後にめぐつてきたので、正月はまさに初春、ところが太陽暦に切り替わると、1ヶ月早くなつて冬の最中となるので、新年の部を立

てました。(旧暦では現在の二三四月が春五六月が夏八九十月が秋十一十二月が冬)

旧暦では真冬の二月に春を立て、真夏の八月に秋を立てる。寒さの中に春を探り、暑さの中の秋に驚く。このようにして日本人は季節感を感じ、生活の中で生かしてき

たといひます。暑いから夏、寒いから冬とする今日の単純な季節感とは、やはり何かを忘れ、日常を単純化、画一化して、つまらなくしているように思ひます。

今年寅年、天災は忘れた

頃に来ると関東大震災後の警句を発した寺田寅彦が寅年生まれかどうかは知らない。

その随筆に「米粒に千字文を書く人の話がある。それによると、始め米粒を指の頭にのせて毎日ただ眺めている。すると、だんだん大きく見え、仕舞いには鳩の卵くらいに見えて来ると云う。その時に至つて、特殊の細い筆で書けば、千字書けると云う。

人間は練習練習によつて、不可能を可能にしてきた。ところで、稽古と練習は違つた。稽古とは「茶の湯」「生け花」「書道」「琴」などもつぱら日本の伝統技法に用いられる。

それは、古くから伝えられる「型」があつて、その型から入つていくからだといひ。

稽古の稽は、考えるといひ意味で、古書を読んで学問をするといひこと。しかし、稽にはもうひとつ滑稽といひ意味があつて、これを当てはめると「基本をいい加減にして勝手なことをする」となる。

「私が言つて笑つかもしれませんが、女連れの旅はいけません。海や空を見ないでいつても見られるものを眺めてしまひます。

旅は本来、友だちといひくもので、それも男の友だちがいい。白

砂を踏んで越し方を偲び、青松に吹く松籟、松の梢に吹く風を聞いて行く末を想う。芭蕉の昔から、人は旅に出てわが命の儚きを知り...

森繁久弥さんが亡くなられたのは11月10日、私の母はその2週間後だった。いくらなんでも森繁節が聞きたくつていつてしまったのではなからうが。



年末年始、家族と普通の暮らしをさせてもらつて、ただ在ることの喜びを、しみじみと感じさせてもらつた。長く「義務感」「使命感」「任務感」ばかりでできたのも、しれない。映画の「E.T.」ではないが、家族に肩問のしわを伸ばしてもらつた感じである。

米粒に千字文を書く人の話を読んで、昔は、年の初めといひのは、改まつた気持ちで、一年の目標を書いて壁に貼つたりして、もっとウキウキしたもの、向上心があつたことを思ひ出した。

第91代、クビンの議長といわれ、る男が、インケツ引いたような顔をして生きては、お天道様に申し訳ない。心を入れ替え一から出直す。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。平成二十二年 睦月 明日ありと思つ心のあだ桜 夜半に風の吹かぬものは